

第2日

***** 小倉競輪 ファンクラブ *****

vol.1807 2020/06/11

制作・編集責任／コンドル出版社 武田 圭二

<http://www.kokurakeirin.com/>

【小倉競輪場】 電投番号 [8 1 #]

☆ 市営 第1回 後節 第2日 新星社杯 ☆
スペースナイトレース (FII) 10R制

2020/6/☆・12(金)・13(土)

《目次》

◆展望&出場予定選手コメント

《展望&出場予定選手コメント》

■ ■ 1 R ■ ■ 出走表 (本命率65%) (発走時間16時00分) (電投締切15時57分)

<展望> 『動けてる「伊藤」が首位一番手』

予選の①(伊藤)は、115期の原井博斗に赤板で突っ張られた事で後退したが、ホーム前から捲りに行った迫力は仲々のものだったし、小倉は好きであれば初日の分迄逃げ飛ばす。番手はライン大事に④(川本)、付いては行けると想定。逃げそして捲りと何でもやれる⑦(泉谷)、初日は任せた齋藤敦と心中したが、本人が悪くないと思ってるなら、先輩③(長澤)を連れて前々に攻める条件で。九州の2人は初日に落車した②(柴田)より、直線で突っ込んでいた⑤(高田)の方が3連対には入れてみたい。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 伊藤貴史 川本さんに任されたので自力です。
- 2 柴田 了 落車したが、走る以上は。瀬戸内の後。
- 3 長澤道雄 同県の後輩、泉谷に黙って任せます。
- 4 川本隆史 瀬戸内ラインで伊藤の番手です。
- × 5 高田隼人 調子は悪くない。決めずにします。
- 6 西村将己 こゝは自分で何かやると言う事で。
- △ 7 泉谷直哉 齋藤に任せた結果なので。先輩の前で自在。

<展開予想>

←【1】42【7】3 5 6

<穴を探る> (泉谷)が狙い。7-1 7-3

2車単 1-4 1-7 1-5

3連単 1-4=57

■ ■ 2 R ■ ■ 出走表 (本命率 85%) (発走時間 16時25分) (電投締切 16時22分)

<展望> 『「斎藤」「河元」の大阪コンビが上位』

予選の⑦(斎藤)は、115期の阪本和也が前を取った時点で突っ張りはあると思い、赤板前から上昇したが、誘導早期追い抜きをやったら4ヶ月自粛のペナルティがあるでは無理出来ず後退したもの、このメンバーなら初日の分迄逃げて逃げまくる。番手に成った①(河元)の初日は、石貞有基のはっきりしない運行に付き合わされ、付いて行けなかったが、後輩(斎藤)は本格的な先行型なので、抜くか抜けないかの勝負に持ち込む。③(小野)が3番手。④(宮原)に任された地元の②(安藤)は、流れでは自力を出すか。

<出場予定選手コメント>

- 1 河元 茂 大阪の後輩、斎藤の番手です。
- △ 2 安藤雄一 (補充)
- 3 小野祐作 行けるなら大阪の後を主張します。
- × 4 宮原英司 地元安藤さんに任せます。
- 5 福田 博 決めず前々で頑張ります。
- 6 山本崇志 こゝは九州でまとまり3番手。
- ◎ 7 斎藤 敦 新人の突っ張りにやられた。逃げます。

<展開予想>

←【7】13 5【2】46

<穴を探る> (安藤)が抜け出す。2-7

2車単 7=1 7-2 7-4

3連単 7-1-23

■ ■ 3 R ■ ■ 出走表 (本命率 80%) (発走時間 16時50分) (電投締切 16時47分)

<展望> 『115期の大物「阪本」パワーで連勝』

予選の⑦(阪本)は、前のレースでこゝの①(土居)が赤板から突っ張り押し切ったのを見て「俺も」と決めたのか、九州の大先輩を連れて2周先行で悠々押し切ったのが115期在校3位の力量、又しても後は九州の先輩2人に任された事で前を取ったら突っ張り、流れで捲りに成っても仕掛けは早い。(阪本)の逃げ切りより迫力があつた(土居)は間違いなく絶好調、後を同県の先輩④(谷口)だけでなく初日連携した⑤(行成)に任された事で、前々を心掛ける事での決勝進出。初日はやらかした③(井上)は切れ目から捲りを放つ。

<出場予定選手コメント>

- 1 土居佑次 突っ張り作戦通り。ラインで決める自力。
- 2 重富公輔 西九州ラインで、阪本の番手です。
- × 3 井上将志 人気してたのに済みません。単騎自在。
- △ 4 谷口幸司 後輪ハウスしたんですよ。後輩、土居。
- 5 行成大祐 土居は作戦通りでした。高知の後。
- 6 中村大和 九州ラインを大事に、西九州の後。
- ◎ 7 阪本和也 前を取った時点で突っ張り決めた。自力。

<展開予想>

←【1】45【3】【7】26

<穴を探る> 高知コンビで独占。 1=4

2車単 7=1 7-4 7-3

3連単 7-1=34

■ ■ 4 R ■ ■ 出走表 (本命率 70%) (発走時間 17時15分) (電投締切 17時12分)

<展望> 『仕上がってる「原井」は連対外さない』

兄の剣也が119期に合格して競輪選手養成所に入ってる事を自分の事のように喜んだ⑦(原井)、中央大学出のエリートは「競輪」に慣れるに従い真価発揮し始めたのが今期の成績であり初日予選の突っ張り赤板先行、この強さは本物。番手は予選で阪本和也に付いて行けた地元ベテラン①(俵)。小倉を走ればチャレンジに限りでも好走してるイメージしかない②(岡崎)は、⑤(沢田)だけでなく④(池内)が後を固めてくれるなら、新人に負けない先行勝負。眠っていた素質がこゝに来て開花しつつある③(緒方)は、チャレンジャー精神で逃げてみる事か。

<出場予定選手コメント>

- 1 俵裕一郎 阪本が突っ張ってくれたからですよ。原井。
- 2 岡崎克政 先輩と決まり良かった。先行主体。
- × 3 緒方慎太郎 小倉は走り易かった。2車でも自力。
- 4 池内吾郎 瀬戸内ラインを大事に、中国の後。
- △ 5 沢田勇治 中ゼロは大丈夫。岡崎さんに任せる。
- 6 植田幸仁 久し振りにしては良かった。後輩、緒方。
- ◎ 7 原井博斗 突っ張りは作戦でした。2車でも先行基本。

<展開予想>

←【7】1【2】54【3】6

<穴を探る> 中国コンビが狙い。 5=2

2車単 7-1 7-5 7-3

3連単 7-1=35

■ ■ 5 R ■ ■ 出走表 (本命率 75%) (発走時間 17時42分) (電投締切 17時39分)

<展望> 『特昇の夢破れた「立部」怒りのパワー』

今回は特別昇班を決めると仕上げて参加した①(立部)、それなのに初日予選は鐘前の1コーナーで落車事故に巻き込まれ、後輪が潰れるアクシデント、それでも壊れた自転車でゴールしたら5着で準決に乗れたのはラッキーと考えるべきか、こゝは初日の分迄パワー発揮する事でファンの信頼を取り戻す。⑦(喜納)⑥(今村)で後を固めるが、運行は下手でも力ある処を初日予選で披露した③(石貞)が力で対抗。④(長尾)は(石貞)に付いて行く事に。小倉に強い②(伊加)は、⑤(丹波)の前で何かはやってる元気なレーサー。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 立部楓真 ショックですが、5着で入線したので。逃げます。
- 2 伊加哲也 疲れはあるが、走る以上は、前で自在。
- 3 石貞有基 レースは反省ですが、捲れたので。自力・自在。
- × 4 長尾博幸 このメンバーならラインの石貞に任せる。
- 5 丹波福道 克政(岡崎)との相性ですよ。同級生の伊加。
- 6 今村康志 九州ラインを大事に喜納の後です。
- △ 7 喜納隆志 原井が強かった。立部に付いて行きます。

<展開予想>

←【1】76【2】5【3】4

<穴を探る> (立部) こゝは負けないか。

2車単 1=3 1-7 1-4

3連単 1-3=7

■■ 6 R ■■ 出走表 (本命率 65%) (発走時間 18時09分) (電投締切 18時06分)

<展望>『超元気「永田隼」が頭一つリード』

先月の当地ミッドを走り結果を残した⑨(永田)、中止が続いた間に練習した成果であり、休まず2場所を走り好走、今回は玉野ナイターから中ゼロの強行軍もあり、予選は松田直也の逃げを叩けなかったが、あきらめず何度も攻めていたのは地元を走る責任感。初日同様オール九州の対戦に成ったが、そこは割り切ったの自力勝負。①(足達)⑥(川崎)の長崎コンビが後を固める。負け戦に成れば力倍増する⑦(池部)は、先輩③(安東)と2車でも基本は先行。⑤(宮路)に再び任された②(境)に、力ある④(下沖)も必ず一度は動く。

<出場予定選手コメント>

- 1 足達重満 行けるなら地元の永田君に行きます。
- × 2 境 啓亨 宮路さんに又任された以上は積極自力。
- 3 安東英博 大分の後輩、池部に任せます。
- 4 下沖功児 調子は悪くない。2車でも自力。
- 注 5 宮路智裕 初日と一緒にですね、後輩、境。
- 6 川崎正安 何をやろうと足達の後です。
- △ 7 池部壮太 安東さんに任されたので先行基本。
- 8 西村尚文 同支部の下沖に任せます。
- 9 永田隼一 松田君が強かった。自力です。

<展開予想>

←【7】3【9】16【2】5【4】8

<穴を探る> (境)の捲りを。2-5 2-9

2車単 9=1 9-7 9-2

3連単 9=1-257

■■ 7 R ■■ 出走表 (本命率 40%) (発走時間 18時37分) (電投締切 18時34分)

<展望>『北九州・西九州・大分の3分戦』

埼玉から福岡に移籍した事で気合入ったのは①(片折)、初日予選こそ鐘から仕掛けて安本昇平の捲りに屈したが、激しく抵抗したのは調子でありやる気、こゝは⑨(瓦田)④(森山)の味がある先輩に任されたなら、捌きや捲りでなく逃げを考えてる好漢。5ヶ月のブランクは関係なかったのは⑥(松田)、予選で永田隼一に叩かせず、魚屋周成・川野正芳をワン・ツーに導いたのは自信に成ったのでは、こゝは③(安部)と決める自力で復活の勝利。⑦(米嶋)⑧(後田)の長崎コンビに任された②(平川)も初日反省の一人、逃げか捲りの自力戦。尚⑤(石山)は、決めず一人でやる事に。

<出場予定選手コメント>

- 1 片折勇輝 小倉の先輩2人と決める自力です。
- 注 2 平川慎太郎 西九州の先頭で自力勝負。
- 3 安部龍文 直也(松田)に付いて行きます。
- 4 森山昌昭 地元で並び、僕は3番手です。
- 5 石山直哉 九州の中に僕だけが四国ですか。一人。
- ▲ 6 松田直也 後2人がワン・ツーなら良かった。自力です。
- × 7 米嶋賢二 後田さんがいゝなら、平川の番手。
- 8 後田康成 西九州の3番手、米嶋の後です。
- 9 瓦田勝也 森山さんに許して貰ったので、片折君。

<展開予想>

←【1】94【2】78【6】3 5

<穴を探る> 西九州・大分の筋狙い。 7=2 6-3

2車単 1=9 1=6 1-7

3連単 1-9=67

■ 8 R ■ 出走表 (本命率 70%) (発走時間 19時10分) (電投締切 19時07分)

<展望> 『気力8割「瓜生」が連対の軸』

落車の影響で痛めた頸椎は完治せず、まだ腕がシビレる状態は①(瓜生)、それでもこの成績は、師匠合志正臣の指導と親交ある同期のスター太田竜馬(徳島)、そして南関東の実力者山中秀将(千葉)と年に何度か練習してる効果、初日特選の3着も良かったので、こゝは前々に攻める事で人気に応える。⑤(吉成)⑧(荒木)の先輩が後を固める。自分でやるかと思った⑨(小原)は、これからの事もあるので初めての⑦(安本)に任せたのが吉と出れば。3番手はこの年齢に成って何があったのかやる気になってる③(船曳)。福岡コンビは②(樽原)が④(片山)の前を申し出る。

<出場予定選手コメント>

- ◎ 1 瓜生崇智 脚の感じは上々です。人気に応える自力。
- 2 樽原由将 直人さんと話して、前で自力・自在。
- 注 3 船曳義之 藤井は落ち着いてましたね。小原の好きに。
- 4 片山直人 岩谷はやさしく行ってくれました。話して樽原。
- △ 5 吉成貴博 付いて行けたので。再度、瓜生です。
- 6 原 司 このメンバーなら決めずにします。
- × 7 安本昇平 人気に応えて良かった。四国の前で自力。
- 8 荒木真慈 調子は良く成ってます。熊本で3番手。
- 9 小原周祐 今日は失敗です。ライン大事に初の安本。

<展開予想>

←【1】58【2】4【7】93 6

<穴を探る> 四国コンビで決まる。9-3

2車単 1=9 1-5 1-7
3連単 1=9-35

■ 9 R ■ 出走表 (本命率 70%) (発走時間 19時45分) (電投締切 19時42分)

<展望> 『特選快勝「原口」に油断は無い』

運が良い選手は開催してる場ばかり幹旋があるのに、⑨(原口)は何と6場所も中止に成るとは、これを「冷え」と考えるか、好きな練習をたっぷりやれると思ったかだが、初日特選の調子を見る限りは後者だった様で、3分戦のこゝも負ける事はない自力勝負。不安は番手に成った①(別所)で、3番手とは言え、特選で(原口)の捲りに離れた事実。⑥(長野)迄が地元ライン。玉野ナイターから中ゼロで乗り込んだ⑤(藤井)③(廣川)⑧(小磯)の瀬戸内トリオは、他の選手からすれば大きなハンディなのかも。②(原)先頭の南九州トリオの方がむしろ怖い。

<出場予定選手コメント>

- 1 別所英幸 3番手は難しいですね。昌平(原口)。
- 注 2 原 清孝 調子は大丈夫です。何時も通りの自力。
- × 3 廣川泰昭 脚は流れましたね。初の藤井。
- 4 塩満賢治 川野君が許してくれたので原君の番手。
- △ 5 藤井 将 点数は気にしてません(笑)。自力勝負。
- 6 長野和弘 片折のお蔭です。地元で3番手固める。
- 7 川野正芳 後輩のお蔭です。塩満さんの後を固める。
- 8 小磯知也 廣川の後、3番手ですね。
- ◎ 9 原口昌平 人気に応えて良かった。先輩と決める自力。

<展開予想>

←【9】16【5】38【2】47

<穴を探る> (原口)が負ける事は考えたくない。

2車単 9-1 9-5 9-3
3連単 9-1=35

■ ■ 1 0 R ■ ■ 出走表（本命率 8 5 %）（発走時間 2 0 時 2 5 分）（電投締切 2 0 時 2 2 分）

<展望> 『大ホープ「岩谷」パワーの連勝』

絶対に負けられない初日予選の⑨（岩谷）は、プレッシャーを楽しむ様に7番手ホーム過ぎから仕掛けるや、アッサリ前団を呑み込み、後の先輩片山直人を2車身突き離す完勝、てっきり原口昌平が2日目のメインと思ってたら番組の評価は違ったみたいで、抜擢された以上は期待に応えるしかない。連携するのは初めての①（山口）、初日の原口に続いて又しても付いて行くのにピリピリするのでは。四国トリオは同期生コンビに⑦（山本）で結束、一番前は小倉に強い④（玉村）、番手に成ったのは②（板崎）。自力を出せる⑤（魚屋）は捲りで決勝進出。

<出場予定選手コメント>

- 1 山口貴嗣 原口は強いですね。初の岩谷に付いて行きます。
- × 2 板崎佑矢 初連携の同期、玉村に任せます。
- 注 3 米原大輔 瓜生は頑張りましたよ。魚屋の番手。
- 4 玉村元気 板崎さんの前で気合で頑張る。
- △ 5 魚屋周成 松田さんを残せなかったのが。自力です。
- 6 田中孝法 貴嗣さんに付いて行ける様、頑張る。
- 7 山本宏明 何とか準決なら。四国で3番手です。
- 8 三木健治 米原の後をしっかり固めます。
- ◎ 9 岩谷拓磨 見ての通り調子は良いです。連勝する自力。

<展開予想>

←【9】 1 6 【4】 2 7 【5】 3 8

<穴を探る>（岩谷）（山口）で決まるレースか。

2車単 9-1 9-5 9-2
3連単 9-1-2 3 5